

# 旧制城北中学校第一回生 67年間の集いの記録

「城北一期有志の会」世話人会（2012年7月）

目次	I.	はじめに
	II.	1977年まで
	III.	1978年～1997年（新年会の開催）
	IV.	1998年～2005年5月（五月（さつき）の会）
	V.	2005年12月～2008年6月（城北第一期生会（通称：城北会））
	VI.	2008年11月以降（城北一期有志の会）

## I. はじめに

われわれの母校、旧制城北中学校（初代校長：故深井鑑一郎先生）は言うまでもなく現在の城北学園の端緒で、1941年に同先生主導のもとに設立されたものです。早くも創立70周年を過ぎて、学園のさらなる大発展を祈念しつつ、われわれ第一回生の30数年にわたる継続的な集いの記録を後輩・同期生の方々にご紹介したいと考え、ホームページを活用させていただくこととしました。なお、本年に入ってから集いについては、ホームページに別に掲載の「旧制城北中学校第一回生の最近の集い：紹介」の記事も御参照ください。



故深井鑑一郎先生  
（旧制城北中学校初代校長）

われわれ旧制城北中学校第一回生（以下、一期生）は、1941年4月に入学し、同年12月からの太平洋戦争時代を中学生として、スパルタ式教育として知られた厳しい教育の下で過ごしました。そして戦時下にあつて4年終了で1945年3月に繰り上げ卒業し、進学先で同年8月に戦争の終結を迎えました。

各人、卒業後これまでの67年間、多様な進路をとり、それぞれの分野でわが国の戦後社会の発展に寄与してきたと自負していますが、何時の間にか早くも83歳～84歳を迎えています。

この間を通じて、一期生の集いは、若い時代には各人それぞれの仕事に忙殺されており、たいへん散発的でした。しかし50歳近くとなった1977年からは、集いは名称を随時変えながらも、毎年開催され、30年以上の間、間断なく続けられて今日に至っています。

これまでに多数の級友が他界され、あるいは音信不通となってきました。しかし最近でも、167名の一期生のうち29名が常時連絡可能で、1割前後が定例的に毎年2回、集って交歓を続けています。



当時の校舎を背景に、旧制城北中学校第一回生全員の卒業記念写真(1945年冬)

われわれ一期生は、市谷の仮校舎(当時の城北高等補習学校)に入学し、2年次に下赤塚の仮校舎(当時の赤塚小学校)へ、3年次末には新たに建設された上板橋の本校舎(現校舎の前身)へと2回の移転が行われました。本校舎建設にあたっては整地作業と移転時の机・椅子の搬送も生徒に課せられました。

これらに加えて、3年次-4年次には、凸版印刷や日本重工などの工場への戦時下の勤労働員(学徒動員)が続いて、その合間に週1回の授業を受け、また、学校では陸軍の現役の配属将校による、小銃を抱えさせられての軍事教練、富士の裾野での連泊の軍事教練が行われました。さらに、時には激しい空爆下での退避・被災等があった上、極端に短縮された授業を受けて卒業しました。(われわれの入学時の学制では5年制でした。)

級友のなかには、在学中に陸軍幼年学校・陸軍士官学校・海軍兵学校その他の軍関係の学校に志願して入学したのも少なくありませんでした。さらに、卒業後も中学での勤労働員が6月末まで続き、進学した上級学校の入学式が7月1日に行われたことも、印象に残っています。

上記のような、おそらく新制城北高校卒業の皆さんには想像もつかないような、非常に過酷な中学生を送った体験から、集うメンバーそれぞれが、一期生であることに加えて、10代半ばの4年間の旧制城北中学校生活に対して、良かれ悪しかれ格別の印象・思いを共通的に抱いています。卒業後67年間、互いに異なる分野・文化・環境での社会生活を送りながらも、そして最近では年齢相応の大小の、あるいは深刻な体の故障に悩まされながらも、同期生の1割前後が毎回出席し、交歓や情報交換を続けて、親近感・連帯感がますます強まっています。そして、次回もぜひと楽しみにしていることが各位の近況報告から窺えます。

われわれの集いを何時ごろまで続けることができるか、もちろん不確定で誰にも分かりません。しかし、これまで30数年間にわたって消えることのなかった灯火を思い出しながら、今後もできる限り長く保たせ、懇親を深め、さらに各人の活力を維持していく糸口となることを願い、卒業後67

年の機会に一期生の集いの記録を本文にまとめました。

一期生の集いの記録は、1991年までは、城北学園同窓会会長としてその運営・発展に貢献された級友の故泉川家久君が城北学園創立50周年記念の「城北史」(後出)に詳述しています。

本文は、1991年以前については主として同記事を引用し、その後約20年間の記録を追加したものです。しかし、記録のかなりが散逸しているために、各回に関する資料の欠落が諸所にあることをあらかじめお断りします。なお、「城北史」は、公式的年表のほか、数名の級友による掲載記事を通じて在学当時を思い出させ、またその後の学園の発展状況を知る上によい資料です。

## II. 1977年まで

卒業後8年半、1953年11月25日に「村野・飯島両先生の還暦記念会」が近藤薫明先生を交えて、新宿東横会館で開催され、約30名が集ったことが写真記録として残されています。この日付と会場は水野のメモによりますが、下記の故泉川君の記事には”多分1954年、新宿中村屋本店で”と記されています。



村野・飯島先生の還暦記念会 集合写真 (1953年11月25日)  
前列左から:2人目 近藤先生;3人目 村野先生;4人目 飯島先生

その後の経緯については、「城北史」(1992)に執筆された故泉川君の記事\*(以下、「泉川記事」)が有用な貴重な資料です。以下、1991年までの概要は同記事によります。(\*脚注:泉川家久:旧中1回生”集いの歩み”記録。創立五十周年記念誌編集委員会編:城北史,学校法人城北学園発行,p.388-393,1992(平成4年))



村野・飯島先生の還暦記念会 集合写真 (1953年11月25日)  
窓側左から右へ:近藤先生・村野先生・飯島先生

1960年代後半(昭和40年代)に入って、卒業後約20年を経て消息不明の同期生が多くなっているため、まずは名簿の整理をと、泉川君が中心となって確認作業が始められました。非常に困難な作業の結果、167名の同期生のうち148名と連絡がとれる体制になりました。

1967年11月17日、近藤・村野両先生の古稀、石田先生の還暦のお祝い会が新橋の中国飯店で開催されました。参会者79名で、野津・難波両先生、中野教官も参加してくださいました。

その10年後、1977年4月23日、泉川君と多くの友人の協力によって、初めての同期会が霞ヶ関ビルの東海クラブの会場で開催されました。97名の参会者があり、近藤先生を始めとして多くの諸先生が参加され、「泉川記事」には「感激的再会の一夕」と記されています。同記事には諸先生からのメッセージも掲載されていて、感慨深いものです。

この会で、翌1978年1月21日に新年会を開催することとなりました。以降、同期会が「新年会」として、1997年までの20年間にわたって、毎年開催されてきました。そして、その後、名称や開催月などを変えながらも、同期会が今日まで引き継がれてきています。

### III. 1978年～1997年（新年会の開催）

1991年までは「泉川記事」によっています。1993年まで毎回土曜日に、以降1997年まで毎回水曜日に行われました。なお、1985年4月6日に、「難波先生祝賀会」が新宿三井クラブで35名参加のもとで開催されました。この祝賀会は、先生へのスコットランドのスターリング大学からの「ロバート・バーンズの研究」名誉博士号の授与と先生の胃がんの全快のお祝いを兼ねたものでした。

78年1月21日 新橋の新橋亭本館 出席46名

翌79年には石田先生(10月17日)と村野先生(12月23日)が続けて他界されました。

80年1月19日 新橋の新橋亭本館 出席81名

81年1月17日 同上(昭和17年—19年入学組との合同新年会) 一期生出席30名

出席された近藤先生から”同窓生で同窓会を運営する時期がきたのではないか”との指摘があり、泉川君がその準備を進めることになりました。81年4月18日に第1回同窓会総会が開催されて、同君を会長とする同窓会が正式に発足。同窓会発足の具体的経緯については、杉崎完夫氏による「新生同窓会草創期」(城北史, p.385-387)に詳しく記述されています。

82年1月23日(土)17:00～ 築地スエヒロ(合同新年会) 会費6,500円 一期生出席37名

(1982年3月に近藤先生が上板橋の学校長を勇退されました。同年10月7日に池袋のサンシャインプリンスで学園・PTA・同窓会共催で”近藤薫明先生感謝の会”が開催されました)

83年1月29日(土)17:00～ 築地スエヒロ(新制6回生までとの合同新年会) 会費7,000円 一期生出席32名

84年1月28日(土)17:00～ 築地スエヒロ(合同新年会) 会費7,000円 出席計77名

85年1月26日(土)17:00～ 築地スエヒロ(合同新年会) 会費7,000円 出席計82名

合同新年会は今回で中断となった。

86年1月25日(土) 銀座ライオン4階の安具楽王舎城 出席(以下、「一期生」を省略)37名

87年1月24日(土) 銀座4丁目のレストラン高松 会費7,000円 出席34名

88年1月23日(土)17:00～ 銀座4丁目のレストラン高松 会費7,000円 出席45名

(この年で一期生の大半が還暦となりました。)

89年(=昭和64年・平成元年)1月28日(土) 日比谷の星和会館アクトレスで開催。

90年1月27日(土)17:00～ 麹町弘済会館 出席55名。

91年1月26日(土)17:00～ 麹町弘済会館 出席49名。

92年1月25日(土)17:00～ レストラン高松 銀座本店

93年1月23日(土)17:00～ レストラン高松 銀座本店

- 94年1月26日(水)18:00～ レストラン高松 銀座本店(?)  
 95年1月25日(水) レストラン高松 銀座高松  
 96年1月26日(水)18:00～ レストラン高松 銀座本店  
 97年1月29日(水)18:00～ レストラン高松 銀座本店 この会で、寒い冬の新年会は止めて、暖かくなってからの会合にしようと申し合わされました。

#### IV. 1998年～2005年5月 (五月(さつき)の会)

前記の申し合わせをうけて、1998年5月27日に「五月の会」が故泉川君(後に故成澤博夫君)の主宰のもとに発足し、年1回の集まりが2005年の5月18日まで毎回水曜日に行われてきました。

- 98年5月27日(水)18:00～ レストラン高松 銀座本店 会費 7,000円  
 99年5月26日(水)18:00～ レストラン高松 銀座本店 会費 7,000円  
 00年5月24日(水)18:00～ レストラン高松 銀座本店 会費 7,000円  
 01年5月23日(水)18:00～ レストラン高松 銀座本店 会費 7,000円  
 02年5月22日(水)12:00～ レストラン高松 銀座本店  
 03年5月21日(水)12:00～ レストランサンミ高松 会費 6,000円  
 04年5月19日(水)12:00～ レストランサンミ高松 会費 7,000円 集合写真撮影  
 05年5月18日(水)12:00～ レストランサンミ高松 出席 34名 会費 5,000円



城北一期五月の会 銀座 レストランサンミ高松 (2004年5月19日)

「五月の会」は、上記のように2005年5月18日を最終回としましたが、重松の提案と出席者の賛同により、あらためて「城北第一期生会(通称:城北会)」が発足しました。

なお、2002年の「5月の会」で、加齢が進むなか、年1回の集まりだけでなく、会える機会を増やしたいという意見が多く出されました。2003年の「5月の会」で重松の提案により、当初13名が

「城北雄志会」を結成し、「5月の会」と並行して会合を重ねました。

## V. 2005年12月～2008年6月（城北第一期生会（通称：城北会））

城北会（通称）は、「5月の会」の残金（230,164 円）を故泉川君より引き継いで、重松が幹事となり、2005年12月14日以降、2008年6月4日まで6回の集まりを下記のように行いました。（以下、出席者数の欄でスラッシュの右側は案内発送数）

### 幹事 重松

05年12月14日（水） 15:00～17:00 東京全日空ホテル 出席 22名／60名 会費 8,000円

06年6月26日（月） 15:00～17:00 東京全日空ホテル 出席 25名／54名 会費 8,000円  
集合写真撮影。

06年12月8日（金） 12:00～15:00 東京全日空ホテル 出席 16名

07年6月2日（土） 18:00～20:00 グランドヒル市ヶ谷 出席 15名／33名 会費 7,000円  
当日「城北学園同窓会総会」（第7回ホームカミングデイ）が15:30から上板橋の校内で行われ、8名が参加、終了後マイクロバスで市ヶ谷の会場に移動。

07年12月11日（火） 12:00～15:00 グランドヒル市ヶ谷 出席 19名／26名 会費 5,000円  
グランドヒル市ヶ谷写真部による記念の集合写真撮影。

08年6月4日（水） 12:00～15:00 グランドヒル市ヶ谷 出席 17名／28名 会費 8,000円  
大久保君に対する「裁判员制度反対運動」の義捐金を席上で募集、後日同君に送付。



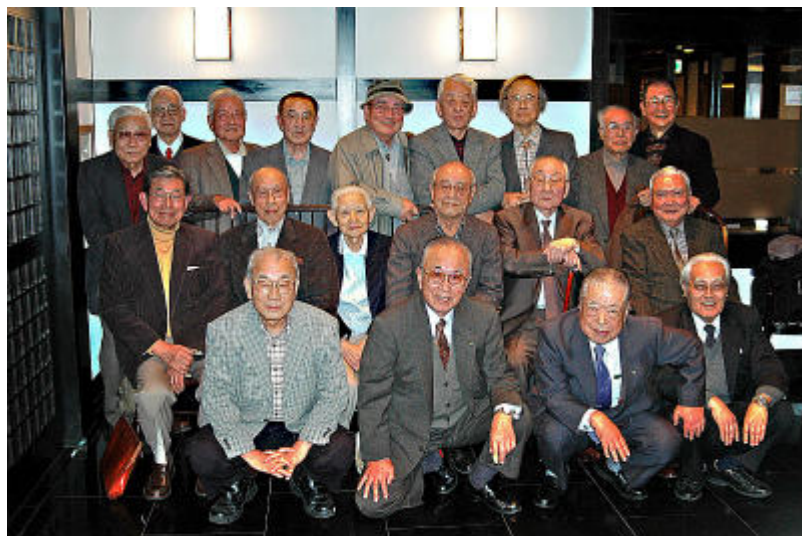
城北第一期生会 グランドヒル市ヶ谷（2007年12月11日）

6月4日の会で重松は退任しましたが、出席者の希望と賛同により、懇親をさらに計っていくために、重松を顧問として宇田川を代表とする計5名の世話人会を新たに設けて、会を存続させることとしました。

## VI. 2008年11月以降（城北一期有志の会）

新世話人会では、名称を「城北一期有志の会」と改めることにしました。集まりは年2回、参加者や世話人会が他の計画も含めて予定をたてやすいようにと、原則として5月最終と11月最終

の水曜日の午後とすることにして(それぞれ「春の会」、「秋の会」), 現在に至っています。



そして、それぞれの集まりごとに、毎回更新したメンバーの連絡名簿と各人の近況紹介表を作成・配布、会の後に「城北一期有志の会」ニュース(現在 8 号まで)を作成して、撮影した集合写真とともに、当日の欠席者を含めてメンバー全員(現在 29 名)に配布してきました。

城北第一期有志の会 2009 年秋の会  
木曾路銀座五丁目店 (2009 年 11 月 25 日)

初回の 2008 年秋の会以降、身体に深刻なトラブルを抱えるメンバーが次第に増えつつあり、また他界されたメンバーもいて、出席者が漸減しています。しかし、最近でもそれぞれの会に 15 名前後の参加があり、懐旧を含めて交歓や情報交換を楽しみ、盛況と惜別のうちに閉会されています。会の運営は、これまで同様に各会の参加者の会費によっています。

**世話人会** (代表)宇田川・八田・水野・山本康; 顧問—重松 (2008 年秋の会~2010 年春の会)  
(代表)山本康・宇田川・八田・水野; 顧問—重松 (2010 年春の会終了後~現在)

**08 年秋の会** 2008 年 11 月 26 日(水) 13:30~16:00 京橋モルチェ 出席 19 名/28 名 会費 7,000 円 終了後に「城北一期有志の会」ニュース(1)を作成。

**09 年春の会** 2009 年 5 月 27 日(水) 13:30~16:00 京橋モルチェ 出席 16 名/28 名 会費 7,000 円 終了後に「城北一期有志の会」ニュース(2)を作成。

**09 年秋の会** 2009 年 11 月 25 日(水) 12:00~14:00 木曾路銀座五丁目店 出席 19 名/29 名 会費 6,500 円 終了後に「城北一期有志の会」ニュース(3)を作成。

**10 年春の会** 2010 年 5 月 26 日(水) 13:30~16:00 京橋モルチェ 出席 17 名/28 名 会費 7,000 円 世話人会代表が山本に交代。終了後に「城北一期有志の会」ニュース(4)を作成。

**10 年秋の会** 2010 年 11 月 24 日(水) 12:00~14:00 小田急新宿店本館 13F「膳菜さがみ」出席 23 名/27 名 会費 7,500 円 終了後に「城北一期有志の会」ニュース(5)を作成。

**11 年春の会** 2011 年 5 月 25 日(水) 13:30~16:00 京橋モルチェ 出席 14 名/28 名 会費 7,000 円 終了後に「城北一期有志の会」ニュース(6)を作成。



城北一期有志の会 2011 年春の会  
京橋モルチェ (2011 年 5 月 25 日)

- 11年秋の会** 2011年11月30日(水) 12:00~14:00 アルカディア市ヶ谷 出席14名/27名 会費7,000円 終了後に「城北一期有志の会」ニュース(7)を作成.
- 12年新春懇親会** 2012年1月28日(土) 12:00~14:00 交詢社倶楽部「小食堂」出席14/29名 会費7,000円 (この懇親会は臨時開催で、「城北一期有志の会」ニュースは非作成)
- 12年春の会** 2012年5月30日(水) 12:00~14:30 銀座アスター新宿賓館 出席15名/29名 会費7,500円 終了後に「城北一期有志の会」ニュース(8)を作成.
- 12年秋の会 (予定)**2012年11月24日(水)13:00~ 交詢社倶楽部「小食堂」

(12年新春懇親会と12年春の会については、集合写真も含めて詳しくは、ホームページに別掲載の記事「旧制城北中学校第一回生の最近の集い:紹介」をご参照ください)

最後に、われわれの集いの開催に尽力していただいた故泉川家久君・故成澤博夫君をはじめ、他界された多数の旧友を悼み、そして長期療養を余儀なくされている級友の諸兄の回復を祈念します。また、われわれの会に未参加の級友の方々が本文と、「最近の集い:紹介」の記事(ホームページに別掲載)を読まれて、会に出席されることを望んでいます。

「城北一期有志の会」世話人会:  
(代表) 山本 康・宇田川 宏・八田耕作・水野篤行 顧問:重松開三郎  
(連絡責任者) 水野篤行